

## 専攻の区分「演劇」の新設について

平成30年度から新たに専攻の区分「演劇」が新設されます。

この専攻の区分における学位授与申請の受付は、平成30年度4月期からとなりますのでご注意ください。

専攻の区分

専攻分野の名称

**演 劇**

芸 術 学

ここでいう「演劇」とは、演劇と舞踊を中核とし、舞台芸術と呼ばれることが多い、人間の身体を使った表現活動を指す。そこには、舞台表現、演劇理論・演劇史、演劇制作・マネジメント、演劇教育の4つの領域がある。学士の学位を得るためには、質の高い表現技術や演劇理論、古代から連綿とつづく演劇・舞踊の歴史、現代社会における演劇制作・マネジメント、さらには、伝統継承・創造のための演劇教育を、広い視野に立ってバランスよく学修することが望ましい。4つの区分のうち2つ以上の区分にわたって修得することが求められているが、演劇の学修を質的に高める意味でも美術、音楽など、芸術全般にわたって学ぶことも大切である。

### ● 修得すべき専門科目と関連科目の単位（62単位以上）

専攻に係る授業科目の区分	専門科目（40単位以上）	
	○舞台表現に関する科目 ○演劇理論・演劇史に関する科目 ○演劇制作・マネジメントに関する科目 ○演劇教育に関する科目	左の区分のうちから2区分以上にわたること
	関連科目（4単位以上）	
	◇文化史・文化論に関する科目 ◇哲学に関する科目 ◇文学に関する科目 ◇外国語に関する科目 ◇映画に関する科目 ◇社会学に関する科目 ◇心理学に関する科目 ◇教育学に関する科目 ◇情報科学に関する科目 ◇美術に関する科目 ◇音楽に関する科目	

### ■ 専門科目の例 ■

#### ○舞台表現に関する科目

身体表現、発声、演技演習、演劇実習、舞踊実習、ミュージカル実習、声優実習、歌唱、ダンス、振付演習、演出演習、劇作実習、シナリオ実習、舞台監督、照明、音響、舞台美術、舞台衣装、ワークショップなど

#### ○演劇理論・演劇史に関する科目

演劇論、演出論、演劇文化論、演劇美学、身体論、批評研究、各国演劇史、各国演劇研究、各国舞踊史、芸能論、古典演劇論、古典芸能論、歌舞伎研究、能楽研究、文楽研究、劇作論、劇作家研究、劇場論、劇場史、人形劇論、ミュージカル論など

#### ○演劇制作・マネジメントに関する科目

演劇制作、演劇プロデュース論、企画制作、アートマネジメント、演劇映像マネジメント、芸術運営論、劇場経営論、メセナ論、文化経営学、公共芸術論、各国文化政策論、著作権法、知的財産権論など

#### ○演劇教育に関する科目

演劇教育論、演劇教育史、児童演劇、学校演劇、ダンス指導法、演劇コミュニケーション論、演劇療法、演劇セラピー、ワークショップ論、ワークショップリーダー論など